令和３年度（２０２１年度）

第２０回 くまもと食・農ネットワーク総会

令和３年度（２０２１年度）

第２０回くまもと食・農ネットワーク総会次第

収録日：令和３年（２０２１年）１０月１９日（火）
場所：熊本県行政棟本館８階 農林水産政策課分室

１　開会

２　主催者あいさつ

３　来賓祝辞

４　書面議決報告

第１号議案　令和２年度活動実績について　P.３

第２号議案　運営委員の改選（案）について　P.４

第３号議案　令和３年度活動計画（案）について　P.５、６

第４号議案　その他

５　閉会

くまもと食・農ネットワーク

目的

◆「地産地消」の取組みによる、消費者と生産者、都市と農村の共生関係づくりを進めること。
◆「地産地消」の取組みを通して、熊本県の美しい自然と豊かな食文化を守り、健康で安心に暮らせる社会づくりを進め、熊本に住む豊かさを実感できるようにすること。

組織概要

会員	熊本県内外在住で、ネットワークの目的に賛同する個人（２０２１年３月現在２０３５人）
運営委員	現在２１人（食と農、文化、環境、健康等に関心が高く、「地産地消」の牽引役として役割が期待できる人、生産者、消費者、学識経験者等）
事務局	熊本県農林水産部流通アグリビジネス課

※このネットワークは、会員が自由な発想で主体的に行動できる民間主導型のゆるやかな連帯組織です。

主な活動内容

Ⅰ．地産地消の推進
（会員個人の活動、熊本県地産地消サイトによる情報発信）
Ⅱ．ネットワーク会員の学習会の開催
（毎年夏ごろに『研修会』を開催）
Ⅲ．ネットワーク会員の相互交流の機会創出
（毎年冬ごろに『地産地消のつどい』を開催）

※「地産地消」について
地域で生産したものを地域で消費することを一般的に「地産地消」と定義していますが、くまもと食・農ネットワークでは、農林水産物をはじめ、伝統文化、地域文化、健康、環境など地域の魅力を活かすことにより、生産者と消費者の交流を通じて、より暮らしやすい豊かな生活や活力にみちた地域の実現を目指すための取り組みと位置づけています。

第１号議案

令和２年度活動実績

Ⅰ　活動方針

「くまもと食・農ネットワーク」では、「地産地消」の考え方を基本に、様々な立場の会員が「地産地消」の取組みを通して、消費者と生産者、都市と農村の共生づくりを進めて参りました。具体的には、「講演会や研修会の開催」、「各立場の会員による自主的な地産地消の取組み」といった活動を毎年継続して行ってきました。

令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「くまもと食・農ネットワーク　研修会」、「春　地産地消のつどい」の開催の中止が余儀なくされました。

Ⅱ　活動内容

１　ネットワークの活動

◆総会（地産地消サイトに掲載し書面開催）

１１月２７日（金）

発信先：くまもと食・農ネットワーク会員

２　県の支援

◆ホームページ「熊本県地産地消サイト」の活用による活動のＰＲ

ホームページ「熊本県地産地消サイト」などの活用により、地産地消協力店の情報紹介や県内の食と農の取組の紹介等、食・農ネットワークの活動をＰＲしました。

※R３.４.１以降は「くまもとのアグリ&フード」としてリニューアル

◆ホームページ「熊本県地産地消サイト」を通じた情報の提供

ホームページを活用し、旬の農産物やその食べ方、料理レシピ、また、各地域の地産地消関係イベント、ニュースなどの情報提供、会員へのメールマガジン配信を行いました。（毎月１回程度）

第２号議案

運営委員の改選（案）

くまもと食・農ネットワーク運営委員　選任案（敬称略）

No.	区分	令和２年度			令和３年度	
		氏　名	所　属　等		氏　名	所　属　等
1	生産者の立場	山田　政晴	（有）山田牧場　代表取締役社長			
2		西浦　文子	花工房てんすい　代表			
3		藤川　貴臣	果樹農家			
4		河原　君代	くまもとふるさと食の名人			
5		沢畑　亨	水俣市久木野ふるさとセンター 愛林館　館長			
6		大住　浩蔵	ＪＡやつしろ　営農部長	→	林田　宜久	ＪＡやつしろ　営農部長
7		本田　浩	ＪＡ熊本中央会	→	瀬井　秀樹	ＪＡ熊本中央会
8	消費者の立場	田中　愛美	熊本県消費者協会会員	→	西冨　徳子	熊本県消費者協会 事務局次長
9		芹川　恵	食生活改善推進連絡協議会 副会長	→	森　涼子	食生活改善推進連絡協議会 副会長
10		持田　成子	野菜ソムリエ上級プロ 女子栄養大学生涯学習講師			
11		岩田　幸治	東部青果（株）常務取締役			
12		小出　史	フリーアナウンサー/ソルティエ（塩選びのエキスパート）			
13		相藤　春陽	ウェルソーレ代表/管理栄養士			
14		駒井　良至	株式会社イズミ ゆめタウンはません　食品次長			
15				追加	飯田　眞志子	熊本食文化研究会　代表
16	学識経験者	坂本　達昭	熊本県立大学環境共生学部 食健康科学科　講師			
17		阿部　淳	東海大学農学部　応用植物科学科 作物学研究室　教授			
18		蔵原　博康	熊本日日新聞社　編集局　政経部次長	→	森　紀子	熊本日日新聞社　編集局 政経部次長
19		加来　裕	熊本県医師会（慶徳加来病院理事長）			
20		井手　文雄	山都町教育長			
21				追加	原田　力子	公益財団法人　熊本県学校給食会 常務理事

第３号議案

令和３年度（２０２１年）活動計画（案）

Ⅰ　活動方針

くまもと食・農ネットワークは、「長引く不況や輸入農産物の増加に伴う農産物価格の低迷による農村の活力低下」や「食の安全性への消費者の関心の高まり」などを背景に、平成１４年に発足しました。「地産地消」の考え方を基本に、消費者と生産者、都市と農村の共生づくりを進めることで様々な課題への効果を期待して、地産地消協力店をはじめ、各会員がそれぞれの立場で活動を行って参りました。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大が長引く中、消費者動向の変化がみられ、さらに「食」と「農」に対する意識が高まりつつあります。

そんな中、くまもと食・農ネットワークでは、「地産地消」の推進を目的とした様々な活動を通して、「食」と「農」の結びつきを強め、県民一人ひとりが食生活や地域の農業、環境を身近に考えられるような取組みを行っていきます。

Ⅱ　活動内容

１　ネットワークの活動［新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮した活動］

（１）総会（議決日）

令和３年１０月８日（金）（活動実績の報告と活動計画の承認）

（２）運営委員会の開催　４回

開催日	主な議題
７月２０日（火）	今年度の方針について
９月２１日（火）	総会・研修会について
１２月	セミナー及びつどい内容検討
１月	セミナー及びつどい内容検討

（３）会員研修会　　　　２回

各会員の活動を推進するための研修会を県と共催で開催

第１回　令和３年１０月１９日（火）（総会終了後）

第２回　令和４年２月頃　　（地産地消の集い）

（４）会員の増大に向けたＰＲの強化

地産地消協力店募集を通じ、ネットワーク活動のＰＲに努め、趣旨に賛同する会員の増大を図ります。

また、研修会開催などの機会に出席者へネットワーク入会の勧誘を行います。

（５）地産地消協力店の活動ＰＲ

協力店が独自に行う地産地消に関する取り組みについて、「くまもとのアグリ&フード」内「地産地消サイト」（以下、「地産地消サイト」）を通じて、情報発信、ＰＲに取り組みます。

２　県の支援

（１）「地産地消サイト」を活用し、地産地消協力店を始めとする食・農ネットワークの活動をＰＲします。

・地産地消協力店の活動紹介
地産地消協力店の様々な活動の事例調査を実施し、「地産地消サイト」に掲載して紹介

・旬の農産物やその食べ方、料理レシピ、また各地域の地産地消関係イベント、ニュースなどの情報提供、会員へのメールマガジン配信

（２）各種の広報媒体やイベントなどの機会を利用し、活動をＰＲをします。